

六 郷

○ひとりだちのできる たくましい生徒の育成
○人権感覚豊かな 思いやりのある生徒の育成

学校便り 11月号
令和2年11月13日
松阪市立嬉野中学校
校長 山下隆久

全力～聴く・歌う・笑う～ 嬉野中学校祭



10月30日(金)「今までの成果を全力で発揮して、みんなで笑顔になりましょう！」という若林生徒会長の言葉で始まった学校祭は、コロナ禍、いろいろなことで我慢をしなければならない中でも工夫して、仲間のことを考え、思いを繋いできた嬉野中生徒みなさんの輝きを見ることのできた素晴らしい時間でした。

体育館の個性が際立つ美術作品とともに、その人らしさが線の一画一画に表現された1年生書道作品も武道場に展示されました。他にも、ものづくり部は熟練わざが垣間見える作品を、美術部の作品は個々の高い技術の作品と一緒に宇気郷の豊かな自然を伝える写真作品を、そして家庭部はアイデア作品とともに11月21日に参加する「みんなのマルシェ」案内パンフレットを、武道場展示会場に出展しました。

ステージでは、クラスの団結を全力で伝える合唱を、全力で聴いて受け止めていたみなさんの姿が印象的だった合唱コンクール、会場が一体になって楽しめた吹奏楽部発表、そして3年生発表では、コロナ禍で失ったこともあったけど私たちだからこそ気づけたことも多くあったという思いとともに伝えた、「**みんなが誰かを好きでいられる**

学校」にするために自分自身が行動するという決意を「僕のこと」という学年合唱で表現してくれました。そんなみなさんに、ある保護者の方から感謝のお手紙をいただきました。

先日は合唱の参観に行きました。とっても素敵な歌声で感動しました。3年生全員の合唱はとっても素晴らしく何度も録画を見返しています。「ああ、なんて素敵な日だ。」未来が不安になるこの今も、子供達は前向きに生きてるなあ！素敵な時間をありがとうございました。

このお手紙に涙が溢れるとともに、嬉野中生パワーの凄さと保護者みなさまのご支援ご協力のありがたさを、しみじみと感じました。素敵な学校祭、ありがとうございました。

多くの方々の支えで嬉野中学校祭が成功し、嬉野中学校がパワーアップしました。



ネットトラブルに注意!!

昨年度は株式会社NTTドコモから講師の先生をお招きし、全校生徒を対象にSNSやインターネットの危険性について講演をしていただきました。今年度はコロナ感染防止対策のため、全校生徒を対象とした講演会はありませんが、学年や学級でその危険性について考える場や機会を設けています。

スマートフォンやタブレットなどは、上手く使いこなせば便利なコミュニケーションツールになりますが、勝手な思い込みによる書き込み、個人情報の安易な書き込みや位置情報を添付した写真のアップロード等、使い方を誤れば人の心を傷つけたり、サイバー犯罪の被害者や加害者となる道具になります。

インターネットの特徴として、一度載ってしまった情報はあっという間に拡散してしまい、回収や削除が不可能に近い状態になります。

ご家庭でもお子様が使う機器にはフィルタリングをかけたり、使用の際の約束を取り決めたり、使う時間を決めたりするなどのルールづくりをしていただきたいと思います。



勤労観・職業観を育む「嬉野学」 ～地域での探究活動を楽しもう～

11月6日（金）竹上真人市長のお話でこの学習はスタートしました。「私は、わたしがつくりたい松阪市ではなく、市民のみんなが思っている松阪市をつくろう！という気持ちで市長を勤めています。」と竹上市長は話してくださいました。

飯南高校の土方校長先生から、これからの社会で求められる力は「答えが一つでない問いを、他者と協働して『正解』ではなく『納得解』を作り出す力」と教えていただきました。

講演の中で嬉野の人口が減っていくグラフを見た生徒の一人が、「これは予想だから変えられるよね！」と言いました。それに対して土方先生は「そうです。後で詳しく言うけど、予想されている未来を良い方向に変えていくためにこの授業があるのです。」と答えられました。

中学2年生が11月13日から8コースに分かれて、この嬉野地域学習に取り組みます。自分らしく社会に参加するための力をつけるのがこの探究活動「嬉野学」です。



中学2年生のみなさん、嬉野の未来を変えるのは、あなたです！